

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	SQ棟 新築工事	階数	地上2F
建設地	三ヶ尻字伊勢上5200番1、5200番3、	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	56 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2022年6月10日
敷地面積	19,908 m ²	作成者	古郡建設(株)一級建築士事務所
建築面積	2,227 m ²	確認日	2022年6月10日
延床面積	2,996 m ²	確認者	古郡建設(株)一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
緑に囲まれた工場の具現を目標に、敷地外周の緑化を最優先に考えている。		
Q1 室内環境 床吹き出し空調の採用など温熱環境に配慮している。	Q2 サービス性能 天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を設けることにより良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓や省水型機器を用いるなど水資源を保護している。	LR3 敷地外環境 運用時のLCCO ₂ 排出量を低減し、地球温暖化へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	SQ棟 新築工事	BEE	1.2	BEEランク	★★★
------	----------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.7	+	2.6	=	6.3	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		
					

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.7
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.7
・運用時のLCCO2排出量を低減			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
・緑地を設けることにより良好な景観を形成 ・空地率を大きくし敷地内温熱環境の向上に努めている			

: 入力欄

CASBEE-建築(新築)2016年版
SQ棟 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境					0.33				2.9
1 音環境				2.5	0.15				2.5
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40				
1.2 遮音				1.8	0.40				
1 開口部遮音性能				1.0	0.60				
2 界壁遮音性能				3.0	0.40				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音				3.0	0.20				
2 温熱環境				3.1	0.35				3.1
2.1 室温制御				2.8	0.50				
1 室温				2.0	0.38				
2 外皮性能		断熱材を強化し外皮性能を向上		4.0	0.25				
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38				
2.2 湿度制御				1.0	0.20				
2.3 空調方式		床吹き出し空調方式を採用		5.0	0.30				
3 光・視環境				2.6	0.25				2.6
3.1 昼光利用				3.4	0.30				
1 昼光率				3.0	0.60				
2 方位別開口									
3 昼光利用設備		ハイサイドライトによる積極的な昼光利用		4.0	0.40				
3.2 グレア対策				1.0	0.30				
1 昼光制御				1.0	1.00				
3.3 照度		事務所 設計照度500lx以上1000lx未満		4.0	0.15				
3.4 照明制御				3.0	0.25				
4 空気質環境				3.3	0.25				3.3
4.1 発生源対策				4.0	0.50				
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用		4.0	1.00				
4.2 換気				2.3	0.30				
1 換気量				3.0	0.33				
2 自然換気性能				3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33				
4.3 運用管理				3.0	0.20				
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50				
2 喫煙の制御				3.0	0.50				
Q2 サービス性能					0.30				3.2
1 機能性				3.2	0.40				3.2
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40				
1 広さ・収納性				3.0	0.33				
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33				
3 バリアフリー計画				3.0	0.33				
1.2 心理性・快適性				3.6	0.30				
1 広さ感・景観		事務所 天井高2.9m以上、室全体へ窓の設置		5.0	0.33				
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33				
3 内装計画				3.0	0.33				
1.3 維持管理				3.0	0.30				
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30				3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				3.0	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				3.0	0.20				

3 対応性・更新性			3.5	0.30		-	3.5
3.1 空間のゆとり			3.6	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高 3.7m以上	4.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		床積載荷重: 3,500N/m ² 以上、架構用、地震用も同様に割増	4.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40		-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕が可能	5.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕が可能	5.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.37		-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱性能を上げ、建物の熱負荷を抑制	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.75	3.5	0.50		-	3.5
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		主要な水栓の過半以上に省水型機器、節水型便器を採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60		-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床材	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材が容易に分別可能、OAフロア採用	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.3
1 地球温暖化への配慮		運用時のLCCO2排出量を低減	3.7	0.33		-	3.7
2 地域環境への配慮			3.4	0.33		-	3.4
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の使用なし	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	